

2021. 5. 1～5. 4

劔岳 早月尾根山行報告書

記 柴田吉暁



計画書整理 No.

期 間：2021年 5月 1日（土）～ 5月 4日（火）

種 別：合宿

山 域：北アルプス（劔岳）

参 加 者：金井、河本、エミ、柴田

コースタイム：5月3日 5:38 馬場島→ 6:45 松尾平→ 8:50 1600m 標識

→ 11:10 1920m 三角点→ 12:57 早月小屋

5月4日 5:00 早月小屋→ 6:34 2600m 標識→ 9:12 2800m 標識

→ 10:34 獅子頭→ 13:18 2600m 標識→ 14:20 早月小屋

→ 16:19 1920m 三角点→ 17:19 1600m 標識→ 20:00 松尾平

→ 21:06 馬場島

記録

1日目、馬場島までの移動し、2日目天候不良により停滞、3日目早月尾根を登って早月小屋で幕を張り、4日目劔岳へアタックし下山する予備日含めて4日間の合宿とした。天候や時間の制約もあり、山頂手前での撤退となった。

以下、詳細

1日目 午後から雨

朝、エミさんにピックアップしていただき、馬場島荘へ向かった。関越自動車道・上信越自動車道・北陸自動車道を経て滑川 IC で高速を降りた。各地で緊急事態宣言発令中という事もあり GW 中日だったが、渋滞や混雑もあまりみられなかった。そんなこんなで横須賀から7時間ほどで馬場島荘に到着した。高速を走っている途中から雨が降り始めたが、馬場島荘でも既に雨が降っていたが、スタッフの方のご好意で屋根のある場所に幕を貼らせていただいた。感謝です。

2日目、天候悪化で下界で停滞。(終日悪天候、各地で遭難事故多発)

3日目 午前中は曇り、午後から強風・雪や霰

午後から天気が崩れる予報だったため早めに支度をして試練と憧れの石碑を後に出発、1日目には雪がなかったが、前日の雪で馬場島から薄い雪が積もっていた。私たちの前に歩き始めた方がいるようで1人分の踏み跡が残っていた。歩き始めから急坂と平地の混ざる道だったが、良いペースで歩く事ができた。見晴台を少し過ぎた辺りの平地で道が分かりづらくなっており、いつの間にか進行方向が狂っていた。トレースを見ても他の方も迷っているようで注意が必要だと思った。方角を確認し、歩き始めると夏道に飛び出て、少し先に切り株の椅子があった。

程なく1600m標識を超え、徐々に雪深くなってきた辺りで先行者に追いついた。ラッセルをしてくださっていた様で、1人では雪深く諦めて引き返そうかと思っていたそうだ。その先の笹の上には雪が付いている箇所ではこんなに登りづらいものかと苦戦を強いられ、この辺りでアイゼンを装着した。その笹を超え樹林帯の中に入った夏道に戻ってからは歩きやすい道で、前日に早月小屋に入っていた小屋の方々も降りてきて、他の登山者(6人パーティと1人)ともすれ違いしっかり踏み固められた道を歩くことができた。1900m 辺りで次第に展望も開け、周辺にも木がない雪原に出た。早月小屋まで似たような道だったが、小屋手前は特に急坂でなかなか応えた。小屋がすぐそこに見えた辺りからガスが周りを覆い始め、到着した頃には強風と雪や霰が降り始めた。手早く幕を張り、食事や明日の支度をして8時ごろ就寝。



見晴し台から



雪混じりの道



1600m 付近 雪深くなる



1900m 付近 雪原が広がる



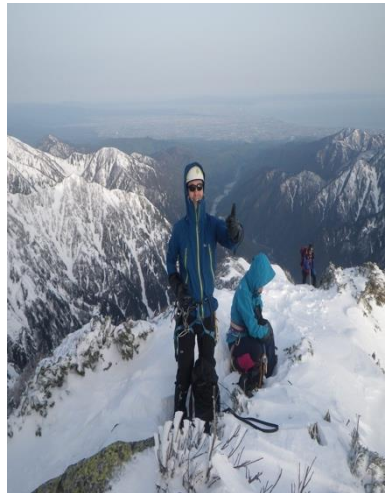
早月小屋到着時 雪が降り始める

4 日目 終日快晴無風

2:30 に起床、ハーネス・ヘルメット・アイゼンを装着し、ピッケルを持って5時に出発。4:30 にはすでに明るくなっており、ヘッドランプを付ける必要はなかった。小屋から頂上への登山道を見るとすでに6人パーティが登り始めており、その後を追わせていただいた、ラッセル感謝です。登り始めから急坂で雪も水分が多くて深くラッセルが大変そうだった。途中で6人パーティに追いつく頃には他の4人パーティや一人登山者も団子になり、大所帯での山行となった。



小屋からの道



日本海がよく見える

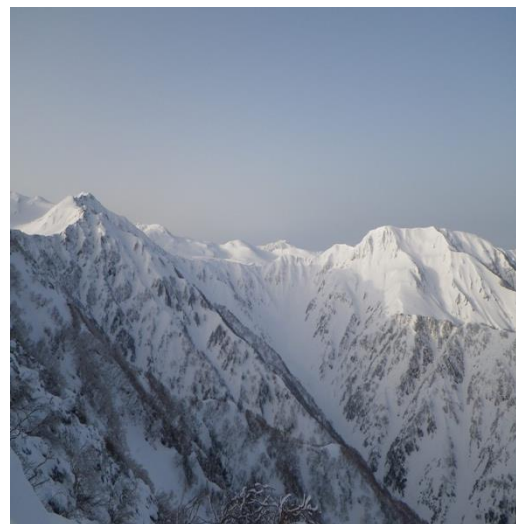


道の混雑状況



周辺の山々

劔岳北側



好天でよく見える 劔岳南側

初めは危険箇所はなかったが、2600m 標識の辺りからいやらしい道が出てきた。右手に小山があり、左側をトラバースできそうな道に出たが、万全を期してザイルを出し、小山を超えるルートを取った。他の方を見てもどちらのルートを取る方もいるようだった。次第に傾斜もキツくなり、フィックスが出ている箇所も多くなった。しかし、雪も踏みやすく、登りに関してはそれ程の恐怖感はなかった。

写真の箇所に着いた時にはまた渋滞が起きており、一人が左側から直登しており、6人パーティがザイルを出して右側をトラバースしようとしていた。私たちは確保はとらず、左側から直登した。登りは慎重に登ればそれ程難しくなく、いくつか支点もあったが、雪で埋もれてしまっているものもあった。そこから獅子頭までも雪は多かったが、危険箇所はなかった。獅子頭を抜け少し登った山頂目の細い尾根では、数メートル先が切れ落ちており、ザイルを出して河本さんが確認に行ってくださいました。自分も後を追ったが、傾斜もあり、岩と雪の混じった道で少し難しかった。この先も似たような道が続きそうな事と時間が11時になっている事を考慮しここで撤退を決断。私たちの先にいるパーティはおらず、ここで撤退しているパーティが多かった。一休止を入れて下山を開始した。



上記混雑箇所 切れ落ちている



最終到達点 河本さんのリード

早月小屋までの下山路はそこまで高度感はなかったが、懸垂下降する箇所が一つあった。登る際に上部に支点がなく懸念していた場所だったが、灌木に巻いた捨て縄が掘り起こされており、それを利用した。また、他パーティがフィックスを張ってくれていて、それも使わせていただいた。冬は雪があり基本的にはスイスイ下山することができたが、雪がない道では時間がかかりそうだと感じた。



滑り落ちれるような箇所もあった



フィックスも張ってある

14 時半ごろ早月小屋に到着し、荷物を整理して出発。15 時過ぎ下山開始、危険箇所はなく安全に下山することが出来たが、登りでも迷いかけた同じ箇所は日が暮れて更に分かりづらくなっており地図を確認しながらの動きとなった。21 時頃馬場島に到着し、帰路に着いた。

感想

今回は初めての合宿という事で、期間も長くいろいろなお話も聞けましたし満足度の高いものでした。山頂を踏めなかったことは残念でしたが、天候や雪の状態も考えてやれる事は出来たんじゃないかと個人的には思っています。皆さんに感謝です。またいつか雪のついた早月尾根にチャレンジしてみたいです。ありがとうございました。